

<インフルエンザなど感染性の高い疾病への対応>

感染力の高い病気にかかった時は、学校の出席停止に準じて、来館停止になります。

感染が確認されましたら児童館へご一報いただき、登館される際には「登館届」の提出が必要となります。コピーしてご使用ください。ご記入は保護者の方がお願いします。

登館停止が必要な感染症

病名	主な症状	登館（所）のめやす	潜伏期	感染経路	感染しやすい期間
インフルエンザ	突然高熱が出て寒気、頭痛、腰痛、関節痛等がおきる。咳は回復期になって出てくる。食欲不振や不機嫌程度の症状の時もある。	発症した後5日を経過し、かつ、解熱したあと2日を経過してから	1日 ～4日	飛沫感染	発症前1日前から 発症後3日の間
新型コロナウイルス感染症	発熱や呼吸器の症状、全身の倦怠感等の症状が1週間程度持続する。	発症した後5日を経過し、かつ、解熱したあと1日を経過してから	1日 ～14日	飛沫感染 接触感染	発症2日前から 発症後7～10日間
麻疹 (はしか)	発病2～3日間は38℃前後の発熱、鼻水、咳、目やに等の症状がでる。 一度熱が下がるが、半日もすると再び39～40℃の高熱、発しんが出る。	熱が下がり3日を経過してから	8日 ～12日	空気感染 飛沫感染 接触感染	発熱が出る1～2日前から発しんが出てから4日の間
風しん (三日ばしか)	発熱と同時に発しんが出て、耳の後ろや首のリンパ腺が腫れる。発熱、発しんは3日くらいでなくなる。	発しんがなくなっ てから	16日 ～18日	飛沫感染	発しんが出る7日前から出た後の7日間
水痘 (みずぼうそう)	発しんが全身に出て水疱となる。約1週間後には、全部がかさぶたになる。不機嫌、食欲不振、発熱を伴うこともある。	すべての発しんがかさぶたになってから	14日 ～16日	空気感染 接触感染	発しんが出る1～2日前からすべての発しんがかさぶたになるまで
流行性耳下腺 (おたふくかぜ)	1～3日間微熱が続き、多くは片方の耳下腺が軟らかく腫れ、軽い痛みがある。2～3日経つと反対側も腫れてくることもある。	耳下腺、顎下腺又は舌下腺腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良くなってから	16日 ～18日	飛沫感染	耳下腺の腫れる7日前から腫れた後9日の間
流行性角結膜炎	目の充血、目やに、涙目。乳幼児は発熱、不機嫌を伴う。感染力が非常に強い	目の症状がなくなり、主治医が登所を認めてから	2日 ～14日	飛沫感染 接触感染	初期数日が最も多いが、その後数か月続くことがある

※小学校が感染症の流行のため、学級閉鎖になった場合は、閉鎖のクラスの児童は全員登館停止となります。

